

パブリックコメントの結果について

- 1 期 間 令和6年9月28日から令和6年10月28日まで
- 2 周知方法 子育て支援課窓口、各公民館、市内保育園・幼稚園・認定こども園等、地域子育て支援センターひまわり、こども支援センターきらきら、境港市公式ホームページで公開
- 3 結 果 2件（市内に住所を有する方からの意見）
メール1件、とっとり電子サービス1件
- 4 意 見 （原文ママ）
 - 1件目 2ページ～3ページ 中野町在住 K様
 - 2件目 4ページ～5ページ 上道町在住 T様

1件目

意見の分類	いただいたご意見	計画の該当事業		
		項目	ページ	内 容
子育て家庭に対する支援	<p>病児保育受入時間の拡大希望：現在、済生会では、8:30～17:30で病児保育の受け入れがありますが、これまで利用したことがありません。理由が、フルタイムで勤務しており(8:40～17:40)病児保育の預け入れ可能時間が短すぎて、利用したくても利用できないためです。</p> <p>(米子でも病児保育の受け入れがありますが、そこまで預けに行ってから出社するのも時間的に余裕がありません…)</p> <p>資料を拝見したところ、年間の病児保育利用者数が予想よりもかなり少ないように感じました。</p> <p>上記の理由で、利用したくても利用できない親が多いのでは？と感じました。もちろん、体調が悪い子供を預けるのだから、なるべく短時間に留めたほうが良いのは承知の上です。しかし、仕事と育児の両立していくにあたり、祖父母が遠方で頼れない共働きの家庭にとって、病児保育の存在は必要不可欠です。保育園でも、咳があるだけで病児保育を勧められるものの、実際使いたくても使えない病児保育になってしまっているので、朝夕30分ずつ長く(8:00～18:00)受け入れしていただけるとありがたいです。</p>	2-①	44	保育サービスの充実 [病児・病後児保育事業]

意見の分類	いただいたご意見	計画の該当事業		
		項目	ページ	内 容
子育て家庭に対する支援	<p>産後ケア施設の拡充希望：初めて出産し、退院後産後ケアを利用したく、市役所に問い合わせたが、どこもいっぱいで最短1か月後の利用となるという回答で愕然とした。産後ケアは本当に必要なときにすぐに駆け込める存在であってほしい。市の助産師・保健師訪問はありがたがったが、「大変ですね」「頑張ってますね」「そうゆうものですよ」と傾聴・共感されるのみで、とにかく1日でいいから眠りたい。一般論ではなく「この子」にどうしてあげたらいいのか具体的なアドバイスが欲しいのに、、、という願いの根本的な解決にはなりませんでした。産後ケアは、赤ちゃんを預けて休息を取れるだけでなく、助産師に一定期間赤ちゃんを見てくれることで「この子はこういうタイプだね。こういう風にしたらいいよ」と具体的なアドバイスがもらえて心の拠り所でした。</p>	2-③	50	母子保健の充実 [産後ケア(デイケア・ショートステイ)事業]
			47	母子保健の充実 [こんにちは赤ちゃん訪問事業(新生児訪問指導)]

2件目

意見の分類	いただいたご意見	計画の該当事業		
		項目	ページ	内 容
子育て家庭に対する支援	<p>境港市在住で3人の子育ての経験を振り返りながら子育て支援策および人口対策について提言いたします。</p> <p>1. 懐妊～誕生 ・ようこそ赤ちゃん教室は、初めてこどもを持つ身にとって心構えを学ぶのに有効でした。(継続希望)</p> <p>2. 誕生～保育園 ・境港市は待機児童が少なく、保育料も安い水準で抑えられているのでありがたかったです。(継続希望)</p>	2-③	47	母子保健の充実 [ようこそ赤ちゃん教室]
		2-①	43	保育サービスの充実 [幼児教育・保育の場の確保]
		2-⑧	54	経済的な支援 [保育料の軽減]
		5-③	64	家庭生活と職業生活との両立支援 [放課後児童クラブ]
	<p>3. 小学校 ・児童クラブは3年生迄の縛りがありましたが、現在は6年生まで拡大で共働き世代には有効と考えます。(継続希望)</p> <p>4. 中学・高校 ・シンガポールへの語学研修に参加し、異文化理解の貴重な経験をさせていただきました。(継続希望) ・みなどテラスは自習用スペースが充実していて個別学習の場として便利で、子どももよく利用しています。(継続希望) →高校までは他市町村に比べ恵まれた環境が整備されていると考えます。継続と更なるブラッシュアップをお願いします。</p>			<p>・本計画への記載はありません</p> <p>・本計画への記載はありません</p>

	<p>5. 大学進学以降（ここを強く望みます！）</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一子は、市内から通える近隣の大学には子どもが希望する学部がなく県外へ転出した。 <p>親としては大学卒業後は境港に帰って就職して欲しいですが、奨学金の返済に加え通勤にはマイカーも必要（更なるローン負担）となることを考えるとUターンを強く勧められません。</p> <p>奨学金の返済に関しては、鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の制度もありますが、対象業種が限られていて利用しにくい状況です。</p> <p>県内には県制度とは別に、独自の奨学金支援制度を設けている市町村（倉吉、智頭、大山、日吉津等々）もあり、これは就職時にUターンという選択肢を高める意味で大変有効と考えますので、当市での導入を強くお願ひいたします。→このような取り組みにコストを掛けたとしても、若年層の維持は、労働力の供給、経済活動、税収、少子化対策等々のリターンの方が大きいと考えます。</p>			<p>・本計画には記載がありません</p>
<p>地域における子育ての支援</p>	<p>6. 境港市の人口の社会減対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 当意見募集にあたり、子ども・子育て支援事業計画、まちづくり総合プラン、市総合戦略を拝見しました。 <p>総合戦略では人口の社会減対策が謳われていますが、「郷土愛醸成」や「情報発信」といった対策の実効性には疑問を感じます。</p> <p>実際に職場で求人活動を行っても若者の応募は少なく、希望するような採用ができない状況となっており実務上の危機感を感じております。</p>	<p>I-③</p>	<p>42</p>	<p>社会的関心の喚起 [子育て関係情報及び手続のオンライン化]</p>
<p>子どもを育てやすい生活環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の充実は少子化対策に有効と考えますが、人口減対策という視点で考えると、進学で市外へ転出した子どもを就職時にいかにUターンさせるかもプライオリティの高い取り組みと考えます。 <p>まちづくり総合プランや市総合戦略においても18歳までの子育て支援とともに、人口減対策としての「県外進学者のUターン支援」への積極的な取り組みをお願いいたします。</p>	<p>4-③</p>	<p>62</p>	<p>子育て世帯の移住・定住の促進 [境港市新しいふるさとでのライフステージ支援補助金]</p>

資料5－2
(10/28時点)

■ 「子ども・若者の声」を募集します (10/28現在追加意見)

Q1	Q2	Q3	※Q3の理由	※Q3その他	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8
居住地区	年代	普段の生活の中で問題だと感じること	選択した理由を教えてください	Q3でその他を選択した場合に記入	最近感じている悩み（自由に書いてください）	こんな場所があつたらいいな（自由に書いてください）	こんなサポート・支援があつたらいいな（自由に書いてください）	境港市に生まれて（住んで）よかつたと思えることは何ですか？（自由に書いてください）	どうしたら境港市に住みたいと思う人が増えると思いますか？（自由に書いてください）
上道	中学生	遊び場	中高生が遊べる場所が少ない			ショッピングモールなど学生が遊べる場所		山と海がある。田舎すぎない	子供が遊べる場所をつくる、他県に魅力をアピール
境	小学生（4～6年生）	遊び場	バスケットボールがほしい			ともだちとあそべる遊具がほしい	おなかいっぱいごはんをたべたい	山と海がある。田舎すぎない	クルーズ船が見れてうれしい